

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 第18回生涯学習推進研究協議会参加報告

4.5

- 2 トピックス 第4回理事会・第2回評議員会開催
- 3 視点 活動拠点としての公民館
- 3 ひろば 自然が教えてくれたこと
- 6 実践記録シリーズ 「さんぼくこども広場」～週末の子ども居場所づくり～
- 7 サークル交流 粘土を捏ねて元気だ脳(加茂市) / 豪雪地津南でのフラダンス(津南町)
- 7 素顔拝見 宮部 彩香さん(長岡市) / 斎藤 悠輔さん(山北町)



▲雪中花水祝い
—新婿の「水祝の儀」—

▼小出国際雪合戦
—雪上で熱い戦い—



「うおぬま冬物語」魚沼市

表紙解説 2月11日(祝)、魚沼市で冬の2大イベントが行われました。
暖冬少雪の今シーズン、雪を運び入れての開催となりましたが、会場は大賑わいでした!

第4回理事会・第2回評議員会開催

19年度基本方針・事業概要決定
市町村合併と政令市移行への対応

去る2月20日(火)の午後、新潟市生涯学習センターで新潟市生涯学習センターで第4回理事会が開催され、当会の18年度会務報告並びに収入支出決算見込み、19年度の基本方針・重点目標・事業計画概要案・自主財源確立のための具体的な方策・第58回公民館大会の開催案、新潟市の政令指定都市移行に伴う今後の役員構成について協議され、また引き続いて行われた第2回評議員会(出席21人 委任8人)では、理事会で整理された案について協議し、ほぼ原案どおり承認された。

一、新年度の基本方針・重点目標・事業計画概要案について
二、第58回新潟県公民館大会の開催について

大会開催地村上から提案され、7月20日(金)村上市民ふれあいセンターで予定どおり開催されることとなった。

三、新潟市の政令指定都市移行に伴う今後の役員構成について

平成19年度 新潟県公民館連合会基本方針

基本方針

今年度は、県内の市町村合併も県北地域の合併で最終段階を迎え、そして新潟市の政令市移行に伴う県公連組織の改編という問題への対応を迫られています。

また、地方自治法の改正に係る「指定管理者制度」の導入等により、県内でも公民館等社会教育施設の民間委託の動きも出て来ております。そして当県公連としては、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の返済という大変重要な問題にも直面し、4年目を迎えております。

このような厳しい時代の大転換期にあたって、公民館の役割・存在意義が大きく問われている今日、私ども新潟県公民館連合会では、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

そこで、今年度は、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として今後も一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織・地域住民の理解・協力を得ながら、次の6点を重点施策として取り組む所存であります。

- (1)関係上部組織とのより一層の連携・強化
- (2)職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3)情報提供事業の充実・拡大
- (4)事業の自己評価
- (5)財政基盤の強化(自主財源確立への努力)
- (6)市町村合併問題への最終的な対応と政令市移行に伴う県公連組織の改編



政令市移行に関しては、今後新潟市は下公連の組織から独立して運営されていくこととなり、県公連会長も残任期終了後、二年毎に輪番制で任に就くこととなった。

BOOKS INFORMATION

自主財源確立のためには

「新潟県公民館月報の自主購読推奨」

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円

申込先 〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

視点

活動拠点としての 公民館

糸魚川市青少年育成指導員
子育てサポーター 宮本マサ子



私達の周りでは、仲間と元気に活動している人々が多い中、地域との繋がりが希薄になり心の不安や孤独を訴える人もある。

このような状況の中で、公民館ではサークル活動への「場」の提供が行われ、チビッ子開放日やシルバー開放日のように、見守りと援助がある中でいきいきと笑顔で過ごせる活動が行われている。

イベントや講座は、公民館だよりを見て希望する事業に参加する人々で活気づき、ふると大学のように継続して参加する講座は、予想を超え

定員枠を増やすほどになり、楽しいだけでなく、多くのことを学ぶ機会となっている。

子育て支援、絵本読み聞かせでは、参加者が一緒に過ごすことで、親子のふれ合いや大人同士の繋がりができ、独りで抱えるには辛い不安や悩みが解消され、心安らぐ「居場所」となっている。

しかし、小学生の積極的な利用に比べ、中学生に対しての課題も残されている。

活動拠点、公民館への期待は大きく膨らむばかりである。

H O T N E W S

掲 示 板

平成18年度第3回関東甲信越静公民館連絡協議会・理事会の開催

- 1 日時 平成19年2月23日(金)
- 2 会場 栃木県庁南庁舎3号館
- 3 議題
 - (1) 第47回関東甲信越静公民館研究大会の収支決算について
 - (2) 平成18年度関東甲信越静公民館連絡協議会事業及び収支決算について
 - (3) 監査報告
 - (4) 第30回全国公民館研究集会兼第48回関東甲信越静公民館研究大会の開催計画について
 - (5) 平成19年度役員(案)について
 - (6) 平成19年度関東甲信越静公民館連理事会の日程等について
 - (7) 情報交換
 - (8) その他



自然が教えてくれたこと

ひろば

佐渡市社会教育委員 小野 久栄

友だちつていいな
かなしいとき
なくさめてくれる
友だちつていいな

風の音が聞こえるよ。
雲がハートになっている。
海のおいがするよ。
みんなで心に感じたことを、絵や詩に書きました。

朝、新聞を広げると、こんな詩が載っていました。
最近、子どもたちの話題が大きく取り上げられています。その度に私は図書室活動の一環で、「童話教室」かざぐるま」のことを思い出します。

私は現在、社会教育委員3年目になります。これからも自然豊かな佐渡を大切に、子どもたちに童話や、民話の読み聞かせを続けたいと思います。

それは、散歩に出かける時の約束でした。
迷惑にならないように歩く。

いろいろな物を発見しよう。
子どもたちの興味は、さまざまな物に向けられました。

いろいろな物を発見しよう。
子どもたちの興味は、さまざまな物に向けられました。



推進研究協議会参加報告

湯沢町公民館

(社会教育課社会教育係)

主事 田村 康大 やすひろ



【グループ討議】

上野さんに引き続きまして、セミナー2日目の午後から報告をいたします。

主催者側で参加者53名の地域と年齢を考慮したとのことで、7～8名ずつのグループ7班に分かれて約90分の討議をしました。テーマは3つ。

- ①魅力的な公民館事業をするためには
- ②公民館事業は、どうあるべきか
- ③公民館は、今後どうあるべきか

我が班は、「新しい人を公民館へ呼び込もう」という話題が中心となり、各地で行われている事例を発表し合って討議を進めました。

新たに呼び込む対象として、団塊世代を考えているところが多く、生涯学習コーディネーター育成を目的とした講座開設を進めているなどの意見がありました。

【シンポジウム】

2日目午後3時から、4名の講師を招き「魅力ある事業を企画しよう！」をテーマとして、コーディネーター国立教育政策研究所統括研究官笹井宏益氏の進行で、シンポジウムが開催されました。

コメンテーター各氏からは、

「公民館が今本当に必要なのか？自分へ問いかけろ。地域を知ったかぶりせず、本当に地域を知る努力が必要である。(山形県遊佐町教育長小田島健男氏)」

「社会教育主事や公民館職員の役割は、生活していく上での課題を見抜くことであり、それをどう実践していくかで手腕が問われる。(浅井学園大学助教授谷川松芳氏)」

「地域の教育力の不足から、社会や人と関わるのが苦手な人が存在する。そこで公民館が地域の柱、コミュニティの柱となるべく、地域と学



グループ討議

びながら事業を展開すべき。(高崎経済大学地域政策学部長大宮登氏)」との意見が発表されました。

【講義と演習】

3日目最終日の午前、広報誌アドバイザー(元産経新聞盛岡支局長) 芝沼隆一氏により、「これからの広報戦略と魅力的な紙面づくり」をテーマに講義が行われました。

まず、読者の特定ができる有料冊子と違い、無料配布の公民館報はみんなに読んでもらわなければならないから難しいと一言。

次に、各地から持ち寄られた公民館報を題材に構成・文字体・写真の使い方などをチェック。

「割付用紙を使っていますか？」「割付用紙に絵を書きましょう！」「記事の内容が一目でわかる見出しをつける！」「本文は明朝体で！ゴシック体の本文は目にきつい！」などの講義に続き、見出しをつける演習を行うなど、実践ですぐに役立つ研修となりました。

【最後に】

よく出てきたキーワードは、「地域」「社会」「生活」「人」「関わる」など。まるでお題目？とも感じ取ってしまいがちですが、公民館の魅力をアップするには、私達職員自身がかつと地域を知り、もっと関わり合うことが必要だと感じました。

今回は貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

特集

第18回生涯学習

(公民館全国セミナー)

新潟市巻地区公民館
館長 上野 啓



はじめに

北海道士別市から沖縄県宮古島市まで、全国の公民館関係職員53人が一堂に集い、共に学び、経験を発表し、話し合い、友好を深めた有意義なセミナーでした。

それでは、1日目の特別講演からご紹介します。

【特別講演Ⅰ】

「防災における地域コミュニティの役割－ハリケーンカトリーナ1年後のニューオーリンズから－」と題した講演でした。講師はNIHKアナウンサーで博士(環境学)の山口勝氏で、NHK入局時は新潟放送局だったということです。

カトリーナ1年後のニューオーリンズを現地訪問されたときの状況、日本とアメリカの地域についての考え方、公金(税金)の投入の仕方の違いや問題点などについて紹介されました。また、防災における地域コミュニティや公民館の役割の重要性について強調されました。

【特別講演Ⅱ】

「時代に応える公民館のあり方」と題して、文部科学省社会教育課長の平林正吉氏が講演されました。①教育基本法改正の経緯と改正内容について ②社会教育施設・公民館の現状について ③国の公民館施策について ④社会教育の活性化と活性化に向けた国の主な取り組みについて説明がありました。

【ワークショップ】

2日目の午前中は、「関わることを力にしよう！－あそびあうプログラムの体感－」をテーマにしたワークショップでした。NPO法人あそび環境Museumアフタフ・バーバン代表の北島尚志さんと須貝さんの指導により、グループになっているいろいろな表現あそびやゲームを体験しました。あそ



特別講演Ⅱ

びやゲームの体験の中で、共にあそび合い関わり合うことが、生き合う力を育てていくことを体感できたワークショップでした。

「さあ、みんなでやってみましょう」と言われると、思わず一歩引いてしまうところがある私ですが、「キタさん」(北島さん)と「スーちゃん」(須貝さん)のトーク、アクション、コンビネーションにしっかりとせられて、みんなといっしょに夢中になって楽しんでいる私に、新鮮な驚きと発見を感じ、感動さえ覚えました。

【番外】

1日目の情報交換会が終わったあとはセンターの某所で、2日目の自由勉強会が終わったあとは参宮橋駅前の某所で、有志が集まって「私設」情報交換会をしました。お酒を酌み交わしながら、本音のところで語り合えた有意義な時間でした。M市のI館長をはじめ、連日参加していただいた各地の皆様、ありがとうございました。

【おわりに】

公民館長になって10か月、これまで公民館の経験もない私にとって、驚きや発見の連続でした。このセミナーに参加させていただいたことを感謝するとともに、セミナーで学んだこと、経験したこと、交流したことなどを公民館職員に少しでも伝えていければいいな、と思っています。

それでは、2日目の午後からの分は、湯沢町公民館の田村さんにバトンタッチします。

実践記録

108

シリーズ



わりばしてっぽうづくり

「さんぽくこども広場」

～週末の子どもの居場所づくり～

1 はじめに

山北町教育委員会では、週末の子どもの居場所づくり事業として、毎週土曜日に山北町民会館の一室をフリースペースとして開放する取り組みを以前から行ってきた。

平成17年度から実施している「さんぽくこども広場」では、これまでの体制を改め町青少年健全育成町民会議会員20名が実行委員となり、地域子ども教室推進事業の再委託を受け活動を行っている。

当初、事業内容の検討時に、「放課後の小学校教室を利用して実施しては…」という意見も挙がったが、町内の交通事情や地理的な条件を考慮して、町公民館がある山北町民会館を会場に、土曜日をメインに活動を実施している。

2. 「さんぽくこども広場」とは…?

(1)ねらい

活動を始めるにあたり、

- ①子どもが気軽に参加できる各種の体験活動をきっかけとする子どもの居場所づくりの拡充
 - ②町内の小・中学生と地域の大人との異年齢交流ができる場の提供
 - ③「おはようございます」「さようなら」等の基本的な挨拶や、活動後の片付けなどのモラルの定着
- この3点を大きな目標とした。

(2)活動内容

毎週土曜日の午前9:30～11:30、町内の小・中学生と保護者を対象に、主に山北町民会館の一室にて活動を実施している。(基本的に9:00～16:00まではフリースペースとして利用が可能である)

具体的な内容としては、

- ・折り紙、手芸、工作などのものづくり
- ・将棋、百人一首、オセロ、トランプなどの昔あそびやゲーム
- ・おかしづくり教室
- ・アウトドア料理、つり体験などの野外活動

等を町内から募集した子ども広場指導員(元児童館職員、学童保育指導員など)が中心となり、プログラムの計画と指導をしている。また、月1回チラシを作成し、町内小・中学校に配付している。

子どもの参加状況としては、活動内容によりばらつきがあるが、小学生低・中学年を中心に毎週15人程度の参加がある。

なお、指導員体制は現在5名で、活動の内容や参加者の見込み数に応じて交代で指導にあたっている。

3. まとめ

(1)参加した子どもの声

「一番楽しかったのは手芸です。むずかしいと思うこ

山北町教育委員会教育課 生涯学習係 係長 斎藤真理子

ともあるけれど、できあがったときにとてもうれしかったからです。こんどはもっとむずかしいものを作ってみたいと思いました。」

「こども広場は50点が最高だとすると30点です。私が一番楽しかったのはキャンドルサービスです。来年もキャンドルサービスをしたいです。」

(2)大人の視点から

- ・活動には意欲があり、自主的に参加する子どもが大半を占めている。活動を通じて、お互いの名前や挨拶を交わせる関係を自然と構築することができた。
- ・活動終了後におしゃべりや遊びにさそわれ、子どもの普段の様子が見えるようになった。
- ・子どもとの交流以外にも、子どもに同伴する大人や地域の大人と指導員同士のコミュニケーションが図られるようになった。

(3)問題点とこれからの課題

来年度以降の取り組みに向けて、以下の3つが大きな事柄として挙げられる

- ・地域には少しずつではあるが活動への取り組みが周知されつつあるので、今後も今以上に口コミを利用して、地域の大人が自然と広場で子どもとふれあうことができる環境づくりをする。
- ・小学校の学区が2つに対して開催場所が1会場のため、参加する子どもが固定化されつつある。今後、各集落等の遠隔地に出張しての活動を視野に入れたプログラムづくりを行う。
- ・活動の分野が偏らず魅力的なプログラムづくりのために、他のグループやサークル等と手を結び、指導員として協力してもらう人的なネットワークづくりを目指す。



折り紙づくり

現在、来年度の活動に向けての指導員を充実するため、現在の指導員の他に、町体育指導員や、読み聞かせボランティアとの連携したプログラムづくりを検討している。

まだまだ、成果として目に見えてくるものは少ないが、地域の子どもはみんなの家族であると言えるように、子どもと地域の大人がお互いを身近に感じ声を掛け合える活動をこれからも目指したい。

粘土を捏ねて元気だ脳

彫塑の月遊会

月遊会とは、月曜日の夜、世の波風を忘れ、子どもに帰って粘土で遊ぼうと言うことで付けられました。平成13年に数多くある講座のひとつに加えていただき、優秀な公民館スタッフと、熱心な先生の指導にめぐまれ、今年で7年目になるうとしています。

公民館の創作室が会員の遊び場で、ここが無いと大勢で楽しく出来ないのです。年の差や昼間の疲れをも忘れ、モデルを観察し、デッサンすることによりモデルの個性をつかみ、その内に潜むものを形に捉えようと、粘土を捏ね、足したり削ったり叩いたり、



多少の力と指先、そして考えることで脳を活性化させる、それが元気の源であり、良い作品が出来るのではないでしょう。

加茂市公民館月遊会
会長 栃沢 純二 記



豪雪地津南でのフラダンス

かがんアロハーズ

豪雪で名を馳せた津南町。その津南町に五年前誕生したのが「かがんアロハーズ」。河岸段丘の町からのネーミングです。

指導させていただいている私は、18年ほど前、横浜博覧会で仲間とフラダンスを踊り、10年前に川崎から津南に



移住して、中高年の楽しみを...との思いからこの会を立ち上げました。

第一・第三金曜日は、会費足から集まってくれた50歳前後の人達と練習していますし、昨年からは月一回高齢者学級「長生学園」(60歳以上)の人達との練習に楽しく励んでおります。高齢者(私自身もですが)なので原語では覚えにくく、日本語の曲を選んでいきます。足腰の運動には最適です。

十月の公民館主催の芸能フェスティバルには、「アロハオエ」「瀬戸の花嫁」の二曲ぐらいは踊れるようにしたいと思います。楽しんでいきます!! フラダンス!!

かがんアロハーズ
主宰 西條 利子 記

「go ahead」「前例を踏襲しない!!」をモットーとする(と思われる)彼は、ゆえにいつも茨の道に足を踏み入れることになります。これを「うまく様々な人々を巻き込みながら切り抜けて来た」のはその人柄の成せる技か???

「〇〇〇〇サンタマリア」と子どもたちに慕われ、こども広場のスタッフや読みきかせボランティアのお姉さんたちの信頼も厚く、女性からの電話や訪

山北町教育委員会教育課
主事 斎藤 悠輔さん



問が引きも切らず。

地域活動などにも積極的に参画し、学生時代に培ったパフォーマンスを武器に、そこでも欠かせない存在となっています。

今年の目標は、禁煙、新車の頭金100万円を貯める、日本国山頂でのジンギスカン、子どもとのキャンプ etc...。いつも楽しいこと盛りだくさんの「ユースケ」さんです。

(山北町教育委員会教育課 渡辺律子 記)

長岡市中之島公民館活動は、平成7年度に生涯学習の拠点となる施設としてオープンした長岡市中之島文化センター「愛称：マナビィープラザなかのしま」を中心に、公民館活動を展開しています。平成9年度から公民館職員として、茶道講座、庶務関係、窓口業務から文書受付に至るまでの幅広い事務を担当している宮部さんです。

長岡市中之島公民館

主事 宮部 彩香さん



特に、11月上旬に開催された生涯学習フェスティバルでは、お茶会を担当し大勢の市民より参加をしていただき大変好評でした。

これからも、子育てに奮闘している毎日ですが、いつまでも元気ではつらつと活躍していただきたいと思います。

(長岡市中之島公民館 村上副主幹 記)

素顔拝見



報告書VI発行にあたっての中で、この冊子は「生涯教育行政論演習」の報告書ではあるが、新潟市坂井輪地区公民館主催



業「坂井輪地域楽」の報告書でもある、と述べております。内容は、第1部さかいわ地域楽、第2部児童福祉施設、第3

恵贈資料紹介

新潟県内の生涯教育行政 VI

新潟県公民館連合会 新潟県公民館月報 新潟県社会教育実践情報誌の決定版 公民館を知るには公民館月報から!

部障害者施設、第4部高齢者施設から構成されております。第2部から第4部にわたって、調査結果に対しての考察がなされ、見えて来た課題に対しての提案がなされております。借しむらしくは、調査範囲が広範多岐にわたっているため深化・拡充という面では、やや物足りなさを感じました。現在、実践集作成中とか。

Network ネットワーク

TOPICS

全国大会のレポートから、公民館が直面する課題の論考まで。鋭く迫ります。

新潟県内の社会教育の動向や今後の展開をいち早くお届けします。

元気いっぱい!仲間もいっぱい!エネルギーが満ち溢る団体が満載です。

公民館月報 KOMINKAN GEPPPO

新潟県社会教育実践情報誌の決定版 公民館を知るには公民館月報から!

生涯学習に関わる様々な立場の人が熱い想いを語ります。

県内各地域の公民館の取り組みの最前線より、魅力的な企画をご紹介します。

新規購読募集中

公民館職員・生涯学習関係者・公民館利用者・学校関係者 など社会教育に携わる全ての方、必見!

新潟県内の生涯学習の動向をはじめ、公民館の最前線のいきいきとした活動の様子がよくわかる、新潟県社会教育実践情報誌の決定版。ぜひご購入ください。

■ 定価1部150円 年間購読料1,800円(税別) ■

お申し込み・お問い合わせ **新潟県公民館連合会**
〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 TEL・FAX (025) 224-6073 E-Mail ni-koren@juno.ocn.ne.jp

新潟県公民館月報 年間購読申込書
平成19年 月分より 部 申込みます。なお、代金は請求により支払います。

お名前: ■年間購読料1,800円(税込、送料含む)
■お申し込みはFAXまたはメールでお送りください。

TEL: FAX:

ご住所: 〒

event information

公民館活動をめざして

<p>この日</p> <p>10月10日(木) 10時～16時</p> <p>会場: 新潟県立総合体育館</p>	<p>参加費</p> <p>無料</p>	<p>主な内容</p> <p>◆全県統一大会 新潟県公民館連合会主催の全県統一大会を開催し、各支部の活動を発表し、表彰を行います。</p> <p>◆行進式 新潟市を代表して、新潟県公民館連合会旗を掲げ、行進式を行います。</p> <p>◆表彰式 各支部の活動を表彰し、表彰状を授与します。</p> <p>◆懇話会 新潟県公民館連合会会長の挨拶、新潟市市長の挨拶、新潟県公民館連合会副会長の挨拶、新潟市副市長の挨拶、新潟県公民館連合会副会長の挨拶、新潟市副市長の挨拶、新潟県公民館連合会副会長の挨拶、新潟市副市長の挨拶。</p>
---	-----------------------------	--

お申し込み先

◆ 電話 0120-203-896 第一法規 株式会社
◆ FAX 0120-202-974
◆ インターネット <http://www.daiichi-hokai.co.jp>

◆ 新潟県公民館連合会
〒951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内
TEL: 025-224-6073 FAX: 025-224-6074

地域と時流にあった 公民館活動のために

全国の公民館職員、生涯学習関係者、社会教育行政職員、全国の公民館利用者、公民館連合会関係者、学校関係者。

タイムリーな実践事例

新潟県公民館連合会主催の「新潟県公民館活動実践事例集」を出版しました。実践事例集は、新潟県公民館連合会が全国の公民館から集めた実践事例をまとめたものです。実践事例集は、新潟県公民館連合会が全国の公民館から集めた実践事例をまとめたものです。実践事例集は、新潟県公民館連合会が全国の公民館から集めた実践事例をまとめたものです。



月刊 公民館

社団法人 全国公民館連合会
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-7646 FAX: 03-5561-7647

あ と が き

閉ブロ公連理事会も無事終了、栃木県公連集會兼閉ブロ大会開催に向け具体的な準備態勢に入つたようです。

県公連理事・評議員会では19年度の方向づけがなされましたが、新潟市の政令市移行に伴う組織改編がなされます。

3月は、年度末、年度始めの人事異動が予定されております。(鈴木 記)